

1. 行政運営の見通しを問う

町制施行から 63 年、この間、様々な社会情勢の変化により、行政運営に大きな影響を与え、現在に至ったものと推察する。平成 30 年度が終了するにあたり、町財政はどのような推移をたどり、今年度はどのような状況であるのか、また、行政と町民のコミュニティはスムーズな進捗が図られたのかを問う。

1 点目、健全化判断比率である指標の、過去 5 年間の推移を顧み、平成 30 年度見込みと照合を行い、次年度へ向けての方針は。

2 点目、平成 26 年 4 月に総務省から「公共施設等総合管理計画」の策定指示がされた事について、町では平成 29 年 3 月に「開成町公共施設等総合管理計画」を策定したが全体スケジュールが示されていない。関連計画との整合性を図る必要があるため、全体の進捗状況と今後の計画は。

3 点目、自治会は地域のコミュニティを担う役割があり、地域特性を活かしたまちづくりに欠かせない組織である。今後、急速な少子高齢化社会となることから、新たに自治会への負担が懸念される。今、自治会役員のなり手がいないことは深刻な問題である。自治会への負担軽減は可能か、役員のなり手不足の対応策と今後の方針を問う。